

『野付学』でつなぐ郷土の夢～幼小中一貫ふるさとキャリア教育～

2018年度改訂



地域の願い	みんな、野付の子 さあ、つながろう！ ※「アマモ」と「おもち」・ア(あいさつ)・マモ(守る)・おも(思いやり)・ち(挑戦) ◆あいさつのできる子 ◆ルールや約束を守る子 ◆思いやりのある子 ◆失敗を恐れず挑戦する子 野付学校区コミュニティ・スクール推進委員会, 野付地区幼小中交流研究会															
	幼稚園	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3						
全体12年間のイメージ	小1と年少～年長の「学びの姿」の共有化・共通化		学びの姿の観点 ・生活や学習習慣 ・学習規律 ・学力や体力 ・言葉遣い ・心の育ち ・社会性 など				小6と中1の「学びの姿」の共有化・共通化				15歳の春の姿を12年間の目標とする。					
	野付小学校 あたりまえ10か条(生活・学習のルールやマナー)					野付中学校教員が野付小学校の外国語・音楽科・体育科・社会科授業へ乗入れ										
	野付小学校 研究テーマ 「たくましく学び、考える楽しさを感じる子」					野付中学校 授業の約束7か条・授業で使う話型モデル										
	「野付の子のめざす姿」生活習慣表・学習習慣表					野付中学校 研究テーマ 「自ら進んで、学び合う生徒」										
	「21時にはスマホを親に返すか居間に置く(スイッチOFF21)」 「スマホを使って人を馬鹿にしたり傷つけたりしない」 メディアアンケート・ネットマナー講習会の実施					「22時にはスマホを親に返すか居間に置く(スイッチOFF22)」 「スマホを使って人を馬鹿にしたり傷つけたりしない」 毎朝の点検・ネットマナー講習会の実施										
実践課題	・身近な動植物への関心 ・自然のすばらしさを感じる ・四季を感じ、自然体験を通して観る力、感じる力を育む。(季節探し・季節の遊びなど)		・地域の自然のすばらしさに気づき、愛着をもつ。		・野付の自然、生活、文化などに興味をもつ。		・地域に誇りと愛着をもち、文化を守るとともに新しい生活や文化を創造する。		・野付の自然やふるさとに興味・関心を持つ ・地元の産業に対する興味関心を持つ。 ・様々な職業があることを学ぶ。		・野付の自然やふるさとへの関心を高め、知識を習得する。 ・地元の産業に対して関心を高め、知識を習得する。 ・自己の適性を知り進路について考える。		・野付の気候や風土歴史を理解し、具体的な実践力を養う。 ・地元の産業や自然について発信する意識と技能を高める。 ・自己の体験や様々な資料を活用し進路についての理解を深める。			
地域つながる産業と自然	・アサリほり ・野付漁組市場見学 季節・自然あそび ・春の遠足 ・よもぎクッキング ・わらび採り ・行者にんにく採り ・バス遠足(地域の自然との関わり) ・海で遊ぼう(尾岱沼キャンプ場) ・ネイチャークラフト ・どんぐり拾い ・落ち葉集め ・焼き芋 ・森の探検		牛～別海町の酪農について～(11月) 		アサリの秘密を調べよう(6月) サケから学ぼう(2学期総合) 地域の生産物やその販売について調べる(社会)		ジャンボホタテの秘密(2学期総合) 北海しまえびの秘密(1学期総合) 地域の農業や水産業について調べよう(社会)		サケ学習(2学期) 		チカ採卵事前学習(4月) チカ採卵実習(4月) アサリ移植実習(6月) 地元食材サケ調理実習(11月)		チカ採卵実習(4月) サケの採卵実習(9月) 		チカ採卵実習(4月) ホタテ燻製作り(5月)	
地域つながる歴史	野付学テキスト使用 町たんけん(生活) 町の人々の仕事(生活)		野付の自然を体感しようツアー(6月) 事前授業(野付半島の自然と動物)		野付の昔を調べよう(3学期総合) 地域の人々の生活の変化について調べ、まとめよう		野付半島の草花や野鳥の豊かさについて調べよう(6月総合)		野付の歴史について調べよう(6月総合)		異世代交流(11月) 職業人講話(10月) 郷土の歴史学習Ⅰ 縄文～アイヌ文化と野付		北方少年少女塾(9月) 職場体験学習(9月) 郷土の歴史学習Ⅱ 江戸時代の野付		野付半島クリーン作戦(5月) ネチャーセンター学習会(5月) 【半島の生き物→成り立ち(地形)→環境と保全】	
進路・国際理解学習	作ってみよう「のつけじまん」 		建物・伝統・お祭り等昔から続いているものについて調べ、ポスターを作ろう(総合)		野付のよさを知らせよう(3学期総合) 野付の海産物・自然・施設などの資源について調べ、ポスターを作ろう(総合)		野付自慢をアピールしよう(3学期総合) 野付の地域資源をパンフレットやリーフレットにまとめ発表しよう		野付のよさをPRしよう(3学期総合) 観光動画を作り「ユーチューブ」にアップしよう		職場体験発表会参加(11月) 職業調べ(2月) 受検ガイダンス(2月) 国際理解講話(5月) 国際交流(7,12月)		職場体験学習発表会(11月) 上級学校訪問発表会参加(6月) 高校説明会(6月) 国際理解講話(5月) 国際交流(7,12月)		「野付学」新聞づくり(8,9月) 上級学校訪問(5月) 上級学校訪問発表会(6月) 国際理解講話(5月) 国際交流(7,12月)	
地域人材	野付ネイチャーセンター、野付漁協(含青年部・女性部)、読み聞かせサークル「ねぎぼうず」、尾岱沼長寿会、床丹寿会、別海町郷土資料館学芸員、野付竜神太鼓保存会、青少年旅行村、サーモンパーク科学館学芸員、別海漁協、別海町女性農業士会、さけます資源管理センター、町内各事業所、保護者、地域の方々 地域サークルの方々による定期的な「読み聞かせ」など読書活動と、NIEの推進															
防災	<<幼・小・中・地域の連携した避難訓練の実施>> ①小学校⇒高学年が低学年をケアしながら尾岱沼地域外へ避難。② 中学生が幼稚園児をケアしながら尾岱沼地域外へ避難。③ 保護者へ園児・児童・生徒の引渡し。															

アマモは野付湾の生態系の根幹。水産資源の「ゆりかご」であり、酪農地帯から流れる川からの過剰栄養分を浄化する。保護には周辺の森林など総合的保全が必要である。

中3時に「野付学」に関する教育活動を修了した生徒に、野付学修了証を授与する。